

JMSCAスポーツクライミング競技規則 令和5年(2023年)3月1日一部改定版

主要変更点

2023/2/7

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
スポーツクライミング部技術委員会

概要

用語の変更

定義の変更（第3条）

- ・違反補助手段

各ラウンドへの進出者の決定時期の明確化（第35条、第71条、第103条）

スピード決勝ラウンドの順位決定方法

- ・各ステージでの敗者の順位決定方法（第113条）
- ・同着解消の追加レース後も同着だった場合の勝者決定方法（第107条）
- ・途中で中止された場合の勝者同士の順位決定方法（第114条）

ボルダー&リード種目の競技規則追加

用語の変更

種目名の変更

ボルダリング → **ボルダー**

変更の経緯

- ・ IF競技規則では、2019シーズンより「ボルダー」という名称に変更
- ・ 国内では種目名として「ボルダリング」が定着していたため、そのまま使用
- ・ オリンピックでは英語、日本語ともに「ボルダリング」を使用
- ・ パリ五輪における新種目の名称が、ボルダリングとリードの2種目複合の「Boulder&Lead（ボルダー&リード）」となったことから、単種目における「ボルダリング」と複合種目における「ボルダー」が同一の種目ではないというミスリードを防ぐべく、国内における種目名を「ボルダリング」から「ボルダー」に変更した

定義の変更

違反補助手段（第3条第1項第4号）

「手や足で用いる」から「**身体の一部**で用いる」に変更

手で用いる	身体の一部で用いる
クライミング面およびストラクチャー上の「Tナット」を埋め込むための穴	黒色のテープで明示された使用禁止として限定された箇所（デマケーション）
	広告および課題番号等の情報を表示するためのプレート類
	クライミング面が途切れている縁
	ボルトハンガー
	プロテクション・ポイントまたはクライミングロープ

各ラウンドへの進出者の決定時期の明確化

リード、ボルダー（第35条第3項、第71条第3項）

「各ラウンドへの進出者は、前ラウンドの公式成績に対するすべての抗議への判定が下された時点での、最上位の選手から充てるものとする。」

スピード（第103条第3項）

「決勝の最初のステージでの競技順および各レースの組み合わせは、予選の公式成績に対するすべての抗議への判定が下された時点で確定する。」

- ・ 「公式成績が発表され、抗議の処理が終わった時点」でのリザルトに基づいて次のラウンドの競技順を作成する。
- ・ 「公式成績が発表され、抗議の処理が終わった時点」より後に、選手が失格となる、棄権するといった事象が発生しても、次ラウンドへの進出者の繰り上げや競技順の修正は発生しないことが明確になった。

スピード決勝ラウンドの順位決定方法

決勝ラウンドの各ステージでの敗者の順位決定方法の変遷

～2021シーズン

負けたステージでのクライミングタイムによって決定

2022シーズン

予選順位で決定（負けたステージでのタイムは考慮しない）

スピード決勝ラウンドの順位決定方法

～2021シーズン

各ステージの敗者は、負けたステージでのクライミングタイムによって決定

順位	姓	名	ナンバーカード	所属	予選			1/8ステージ	1/4ステージ
					A	B	ベストタイム		
1	檜崎	智亜	M005	TEAM au	5.96	***	5.96	7.27	8.27
2	竹田	創	M018	仙台城南高等学校	6.51	6.82	6.51	6.80	6.60
3	安川	潤	M010	千葉県山岳・スポーツクライミング協会	6.85	6.58	6.58	7.92	6.80
4	百合草	碧皇	M008	埼玉県山岳・スポーツクライミング協会	7.22	7.03	7.03	7.76	6.89
5	北見	宗和	M001	-	7.99	6.53	6.53	6.64	7.26
6	三田	歩夢	M020	千葉県山岳・スポーツクライミング協会	7.41	7.50	7.41	7.45	9.70
7	阿部	央彦	M004	愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟	7.91	7.84	7.84	8.45	11.02
8	上村	悠樹	M023	東京都立上野高等学校	8.14	8.01	8.01	8.01	FALL
9	梶	晃悠	M015	九州産業大学	8.24	8.99	8.24	7.19	
10	竹中	翔	M021	岐阜県山岳連盟	7.64	7.57	7.57	7.54	
11	大政	涼	M002	愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟	6.90	6.60	6.60	8.17	
12	浅見	陽樹	M019	鳥取県山岳・スポーツクライミング協会	8.20	FALL	8.20	8.30	
13	平澤	鼓太郎	M016	大阪府山岳連盟	9.18	8.42	8.42	8.95	
14	大賀	羽玖	M007	岩手県山岳・スポーツクライミング協会	8.06	7.98	7.98	9.74	
15	本明	優哉	M003	岩手県山岳・スポーツクライミング協会	7.49	7.36	7.36	10.02	
16	山本	恭也	M014	愛媛県山岳・スポーツクライミング連盟	8.02	8.60	8.02	FALL	

スピード決勝ラウンドの順位決定方法

2022シーズン

予選順位で決定（負けたステージでのタイムは考慮しない）

順位	姓 名	ナン バー カード	所属	生年	予選			1/8ステー ジ	1/4ステー ジ
					A	B	ベストタ イム		
1	田淵 幹規	M18	奈良県山岳連盟	2007	5.88	7.39	5.88	6.09	5.89
2	池田 雄大	M11	-	1998	FALL	5.96	5.96	6.30	6.01
3	安川 潤	M08	早稲田大学	2003	5.65	FALL	5.65	5.66	5.42
4	ASPAR Aspar	M13	INDONESIA	1988	6.28	7.51	6.28	5.76	7.36
5	藤野 柊斗	M21	千葉商科大学付属高等学校	2004	5.70	5.86	5.70		7.97
6	谷井 和季	M16	糧原学院高等学校	2006	6.26	6.28	6.26	6.840	10.63
7	大政 涼	M19	松山大学	2002	6.36	6.92	6.36	5.69	5.47
8	三宅 祐希	M09	岡山県山岳・スポーツクライミング連盟	2007	7.13	8.38	7.13	7.05	6.88
9	上柿 銀大	M15	岩手県山岳・スポーツクライミング協会	2007	6.25	6.55	6.25	7.09	
10	竹中 翔	M07	岐阜県山岳連盟	2003	6.76	6.51	6.51	FALL	
11	真鍋 竜	M12	愛媛県立西条高等学校	2005	6.66	7.26	6.66	6.840	
12	大石 樂	M06	-	1999	7.47	6.97	6.97	8.04	
13	山田 航大	M14	埼玉県立久喜北陽高等学校	2007	7.43	8.31	7.43	7.14	
14	浅見 陽樹	M02	鳥取県山岳・スポーツクライミング協会	2004	8.99	7.44	7.44	12.06	
15	竹田 創	M17	日本体育大学	2002	FALL	7.48	7.48	FS	
16	赤羽 陸	M10	-	1996	7.79	7.72	7.72	6.51	

スピード決勝ラウンドの順位決定方法

2023シーズン

負けた時点での、**その競技会を通して一番良いクライミングタイム**で決定
※プラクティスタイムは含まない

変更理由

- ・負けてしまうと決勝でのタイムが順位に反映されない
→決勝でのベストパフォーマンスが見られない
- ・すべてのレースでレベルの高いパフォーマンスを見ることができる

第113条第1項第2号

選手は、最後にレースを行ったステージで順位を決定するものとし、各ステージ内では以下の順に順位を決定するものとする。

- ①当該ステージでの勝者
- ②**第107条第2項第2号から第4号に該当する**当該ステージでの敗者は、**予選順位の昇順と各選手が当該競技会のプラクティス・タイム以外でのすべてのレースで記録したクライミング・タイムを比較して決定**する。
- ③第107条第2項第1号および第5号に該当する敗者

スピード決勝ラウンドの順位決定方法

同着解消の追加レース後も同着だった場合の勝者決定方法（第107条第4項）

両方の選手が同じクライミング・タイムを記録した、あるいはクライミング・タイムを記録しなかった場合は、不正スタートが発生した場合を除き、同着を解消するための追加のレースを行う。追加レースの後、なお同着の場合は、~~予選でより上位の選手を勝者と~~各選手が当該競技会のプラクティス・タイム以外でのすべてのレースで記録したクライミング・タイムを比較し、勝者を決定する。

途中で中止された場合の勝者同士の順位決定方法（第114条第2項）

決勝がいずれかのステージで中止された場合は、競技会は終了したものとみなし、最後に完了したステージで最終順位を算出するものとする。最後に完了したステージのレースの勝者間の順位は、~~それぞれの予選順位~~各選手が当該競技会のプラクティス・タイム以外でのすべてのレースで記録したクライミング・タイムに基づいて決定する。